

皆さん初めまして AJI LLC の岩田と申します。

私は AJI LLC で語学部門を担当しております。留学と一言で言いましても色々ありまして、1週間単位のものから長期のものまで。

語学を重点的に学ぶもの、その後カレッジや4年制の大学に進学して自分の学びたい分野を英語を使って学ぶ。日本人の学生さんに人気なのがビジネス、輸出入、ホスピタリティー、スポーツトレーナーなどですね。弊社は総合的な留学のお手伝いを提供し、“一人でも多くの方の留学の助け、また架け橋になれるように”をモットウにして営業をしております。

自己紹介

私は日本の大学を卒業してから内陸のアーカンソウ州のリトルロックという所に

1年間語学留学をしておりました。

行ったことがありますか？どこだか分かりますか？

州のスローガンが Natural state でもあり、ほとんど日本人はいないです。空港に降りた際、係の人に日本から来たと伝えるとすごくびっくりされました。

ここを留学先に決めたのも安易な発想で日本人がいなく所と考え行き着いたのがアーカンソウでした。また従兄弟の姉が留学をした時のホストマザーがいたことも、決め手の一つですね。英語もままならない私がホストマザーに電話をしてつたない英語で勉強をしたいので行ってもいいですか？とお伺いした所、快く OK を出して頂きました。しかしここからが大変でしたね。また私の留学人生というものがスタートしたのもこの時からです。

私の留学体験：

1) まず留学をするにあたり学校選別を行いました。この際私が行ったことは、インターネットからの情報収集ではなく、まずは現地に行って自分の目で学校を調査しました。ことわざで百聞は一見にしかずと云う言葉の通りですね。

これは全く分からない土地で英語もままならない時にしたので、色々な苦労がありました。またインターネットもそんなに普及していなかったので学校を一つ探すのでも大変苦労しましたね。しかも私が探していた学校は、長期滞在が出来るものでした。簡単に云うと学生のビザを発行可能な語学学校がある4年制の大学。

最初小さな町に住んでいたのですが、その場所は本当に田舎で日本人なんか一人もいなかったですし、外国人を受け入れている学校（語学学校と云うものすらなかったです）はなかったので、州都のリトルロックという所で学校を何件か回って最終的には University of Arkansas Little Rock 校の語学学校に決めました。

西海岸のカリフォルニアは学生さんが世界各国から集まっているので、学校自体を探すのは問題ないですが、内陸となると話は別ものでしたね。

- まずは言葉の壁、5W1H すら分かりませんでした。What, where, why, when which, how

映画とかで聞き慣れている英語ではなく、内陸の本当にカントリーサイド（田舎）でしたので、方言やなまり、後は年配の方が話す英語というものが、すごく聞き取りにくかったです。

コマーシャルの話。

ジェイ・イエット？わかりますか？ Did you eat yet? の口語（スラング）何ですが、コマーシャルで流れていたのですが、理解が出来ず、何十回もホストマザーに聞いたことを覚えています。実際に口語として使っている人もいましたね。後は y'all こちらは your all の訳ですね。カリフォルニアでは how's going や what's up など使われますが、内陸はこのような言葉も使われていました。

2) 学校の決めてとなったものが、学生寮があったこと、また語学学校の先生、またアドミニストレーションの方がすごく親切だったことです。全く英語が分からない人間に対して丁寧に説明してくれて、分かるまで根気よく付き合ってくれました。この先生方に出会わなければ、もしかしたら今この場にはいないかも知れないですね。それほどこの先生達との出会いは強烈でした。この頃から将来仕事をする際は、少しでも人の助けや不安を和らげてあげられる様な仕事をしたいと少しずつ思う様になりました。

3) 次はビザの申請ですね。これは今考えると英語も分かんない人間がよく出来たなと思います。けど人間やるきでやれば出来ないものなんてないですね。後は根気です。

アメリカの学校に入学する際のプロセスについて：

1) I-20 入学許可書を入手する為に学校入学の申請書を提出、その際に Bank statement を提出
> I-20 を発行

2) 発行された I-20 に基づきビザ申請書類の作成 現在は DS-160 非移民ビザ申請書ですね。今はインターネットベースになっていますが、昔は手書きでしたね。

この書類は個人情報から、学歴、アメリカ入国に関する審査等の書類ですね。これを最初に作成した時は1週間ぐらい掛かりましたね。まず英語が読めないのが一番大変でした。

3) SEVIS の登録と支払い。Student and Exchange visitor Program といわれるものです。これは2001年のテロリストの攻撃後、移民局が学生ビザで入国する生徒の管理を強化する際に、I-20 がオンラインでデータ化され、移民局、警察、入国審査局が同時にデータベースを共有することが出来る様にするものです。これを行うことにより不法移民の流入を抑え、幽霊学生の取り締まりを強化する為に作られた制度です。

4) 全ての書類を作成、提出、支払い後日本に帰国して、日本の米国大使館での面接ですね。これは英語で行われるもので、最初は心臓がのどから出るぐらい緊張しました。待っている間はすごく緊張しましたが、英語での面接はすごくシンプルで、何でアメリカに行きたいのとか、何をしたいのとかでした。

面接終了後、面接官の人からビザの申請を受理しますといわれ、手続き終了です。これが学生ビザを申請する際のおおまかなプロセスですね。

1) いつでもできる語学留学

CEL, EC San Diego, Connect English, ACE from Grossmont College, language& Business Extension at UCSD,

2) UCSD 語学留学

Language & Business Extension

3) 留学&ゴルフ

曽我部のゴルフレッスンと語学留学を混ぜたもの

4) スキューバダイビング

パディのオープンウォーターのライセンスが取れるもの

5) サーフィン留学

弊社提携サーフィンスクール パシフィックビーチ

6) 親子ステイ

家族2人でアメリカ人の家庭にホームステイをするもの

7) サマーキャンプ

お泊まりタイプから通いタイプのもの

アクティビティタイプ、学習タイプ、スポーツ、人気なのがウエスタンタイプのもの

8) ホームステイ

弊社提携のホームステイ先

9) コンドミニアム

10) 現地安心サポート

文化や週間の異なる海外での生活はとかく不安なものですよね。本プログラムの参加者には現地の日本人スタッフが快適で安心な留学生活を送れるような万全のサポートを致しております。

11)

生活スタートコーディネーター

ご滞在：ホームステイ、アパート、ホテル、コンドミニアム

銀行口座開設

携帯電話&インターネット契約

公共機関との契約

車の手配：購入、レンタカー

通訳